

## 令和元年度外国基地派遣の概要

### ○インド(マイトリ基地)

専門分野	氏名	所属	隊経験	外国基地派遣歴
第四紀地質学、古地磁気・岩石磁気学	菅沼 悠介	国立極地研究所研究教育系	第51・53・55・57・59次夏隊	無し
微化石学・古環境学・海洋地質学	香月 興太	島根大学エスチュアリー研究センター	第59次夏隊	無し
地球表層科学	金田 平太郎	千葉大学大学院理学研究科	第57次夏隊	無し

課 題 シューマツハオアシスにおける湖沼掘削および地形調査に基づく氷床変動史の復元

目 的 近年、南極氷床の融解や流出の加速が相次いで報告され、近い将来の急激な海水準上昇が社会的に強く懸念されている。そこで本研究は、東南極沿岸シューマツハオアシスの湖沼から連続な地層を採取し、海水準上昇の将来予測の高精度化に不可欠な、最終間氷期（約12.5万年前）以降の東南極氷床融解開始年代の決定と相対海水準変動の復元を行う。

期 間 令和元年11月2日～令和元年12月16日（予定）

### ○ニュージーランド(スコット基地)

専門分野	氏名	所属	隊経験	外国基地派遣歴
動物生態学	岩田 高志	東京大学大気海洋研究所	無し	平成30年 スコット基地（ニュージーランド）

課 題 ロス海におけるウェッデルアザラシの採餌生態の研究

目 的 ロス海スコット基地周辺に生息するウェッデルアザラシの採餌生態の解明を目的とする。第9期の一般研究観測で取得された昭和基地でのウェッデルアザラシの採餌生態データとの地域間比較を行うことで、海氷域におけるアザラシの採餌生態の多様性を理解することを目指す。ニュージーランド側の研究者とともに、特にビデオロガーと加速度ロガーを用いた採餌行動の観察を重点的に実施する。

期 間 令和元年11月7日～令和元年11月29日（予定）

### ○ベルギー(プリンセスエリザベス基地)、インド(マイトリ基地)

専門分野	氏名	所属	隊経験	外国基地派遣歴
磁気圏物理学	門倉 昭	国立極地研究所研究教育系	第30・44・50次越冬隊 第57次夏隊	平成23年 南極点基地（アメリカ）
超高層物理学	田中 良昌	国立極地研究所研究教育系	第57次夏隊	無し

課 題 無人システムを利用したオーロラ現象の広域ネットワーク観測

目 的 ベルギーのプリンセスエリザベス南極基地とインドのマイトリ基地を訪問し、プリンセスエリザベス南極基地への無人オーロラ観測装置の設置、マイトリ基地へのオーロラ全天イメージャシステムの設置、それぞれに向けた現地調査と設置作業を行う。

期 間 令和2年1月4日～令和2年1月25日（予定）